



中濃記者会同時配布

令和元年10月31日（木） 岐阜県発表資料			
担 当 所 属	担当	担当者	電話番号
岐阜県立森林文化 アカデミー 森林総合教育課	課長	川尻 秀樹	電話 0575-35-2535（代表） 内線 700 FAX 0575-35-2529

森林文化アカデミーに開所予定の 森林教育の総合拠点の名称・愛称が決定しました

県では、「ぎふ木育」の基本方針を示す「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、森林教育に取り組んでおり、2020年春の開所を目指して、県立森林文化アカデミー内に森林教育推進のための総合拠点の整備を進めています。

今回、この総合拠点の名称・愛称を決定しましたので、お知らせします。

記

○拠点の名称・愛称

【名 称】 森林総合教育センター
【愛 称】 morinos（もりのす）

＜愛称に込めた意味＞

- ・「morinos（もりのす）」は「森の巣」の意味であり、「森」にいる生き物の「巣」を表している。
- ・生き物が赤ちゃん期を過ごし、親から、そして自ら生きるすべを学び、巣立っていく場所として、自然界の様々な生き物にとっての「家」という意味を含んでいる。

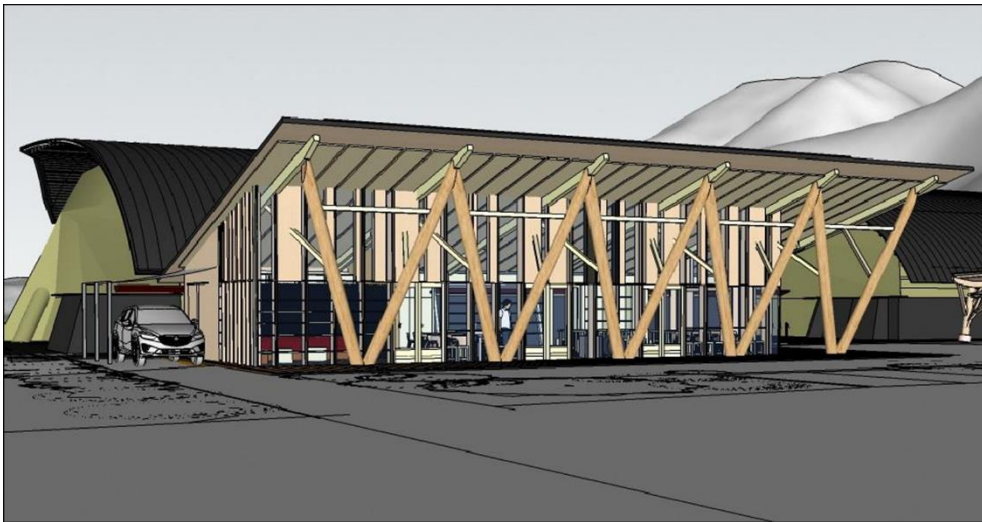
～参考：森林総合教育センターの機能及び中核施設～

○センターの概要

- ・本県と連携に関する覚書を結んでいるドイツのバーデン・ヴュルテンベルク州（BW州）が運営する、森林教育の専用施設「ハウス・デス・バルデス（森の家）」がモデル。
- ・新設するセンターハウスを中心に、その周辺及び隣接する演習林などの屋外フィールドも活用して様々な森林教育活動を展開する予定。

○センターハウスについて

- ・世界的に著名な建築家の隈研吾^{くまけんご}氏の指導のもと、当アカデミーの木造建築専攻の学生が、センターの中核施設となるセンターハウスを基本設計。



【センターハウス完成予定図】